

体験プログラム

体験しながら、むかしの生活を学習。
各プログラムの所要時間は目安で、
別途費用必要なものもあります。



土器洗い【20分】
発掘調査で見つかった土器を、洗います。模様などが観察できます。



拓本【1時間】
墨を使って和紙に模様を写し取る記録作業です。



土器作り【2日間:要材料費】
昔のおなべや食器など、野焼きで焼き上げます。



自然クラフト
史跡海会寺広場はドングリなど豊富。



レパカの貸出しも可能 銅鐸・三角縁神獸鏡・銅剣・石剣などがあります。
いずれも出土品を忠実に再現したもので、銅鐸は実際に鳴らせます。



火おこし【20分】
木をこすり合わせて、炎を起こします。



縄文クッキー作り【2時間:要材料費】
クリや肉など、遺跡で見つかった炭化物からレシピを再現。



石器作り【30分〜】
サヌカイトという石を割って、ナイフなどを作りまます。



むかしのパン作り【1時間:要材料費】
生地を簡単に発酵させた昔風のパンです。



脱穀・精米体験【1時間〜:要稲穂】
稲穂を、木の杵と臼をつかって脱穀し精米します。



ガラス玉作り【2時間〜:要材料費】
ガラス粉を土の鋳型の中にいれ、炭火で熱します。



むかしの二セ金作り【2日間:要材料費】
中世に盛んだった模鋳銭作り体験。粘土の鋳型とハンダを使います。



石包丁作り【2時間〜】
緑色片岩という石を磨いて、稲穂を刈り取る道具を作ります。



石の勾玉作り【1時間:要材料費】
滑石を磨いて作ります。



クシ作り【2時間】
竹ひごを熱でまげて紐で縛ります。仕上げに漆を塗れば出土品そっくり。



組みひも作り【15分〜:要材料費】
指をつかった当時の方法。東大寺の正倉院に伝わるものと、同じ方法です。



布を織る【3時間〜】
簡単な機をつかって、コースターほどの大きさの布（平織）を織ります。



布を編む【1時間〜:要材料費】
麻糸を使い、すだれと同じ要領で布を編みます。



糸つむぎ【30分:要材料費】
繊維をより合わせ、糸にします。麻や綿糸などの繊維を使います。



草木染【3時間〜】
草花や木の実など、身近にあるものを使って、糸や布を染めます。



紙すき体験【3時間】
牛乳パックを原料に、木枠で紙をすきます。



ロウソク作り【2時間:要材料費】
型に流し込んだり、いろんな方法で作ります。



布ぞうり作り【2時間〜:要材料費】
古布を使ったぞうり作り。リサイクルを兼ねた体験。



かご作り【2時間〜】
鳥取県の遺跡で見つかったカゴと同じ編み方でつくりまます。



星空探検【2時間】
季節の星座観察のほか、星まつわる歴史講座を行います。

紙芝居

泉州の民話などを題材にした、手作り紙芝居。

【各作品とも上映時間 10分程度】



お菊山
泉南市のむかし話

大坂夏の陣のときに活躍したお菊。新家にあるお菊山の名前の由来になった話です。



つぼのなかみ
阪南市のむかし話

ひょんなことから山の中でお宝入りの壺を見つけた、真面目な夫婦の話。



蟻通明神
泉佐野市のむかし話

蟻通神社に伝わる、親孝行な息子の知恵比べの話。神社の名前の由来になった話です。



ドキドキものがたり
創作

縄文時代の人々の豊かな暮らしぶりや、土器の発明など、考古学でわかった当時の暮らしを紙芝居でわかりやすく解説。



ごろ吉と仏さま
泉南市のむかし話

海会寺の名前の由来になった話。平安時代に書かれた『日本霊異記』に記されています。



くずのは狐
和泉市のむかし話

歌舞伎などで多く演じられている、わが子を思う母狐の情愛を描いた美しい話。



神のくにづくり
創作

神様の子孫の兄弟が平和な国をつくりまでの話。日本書紀などを題材にした創作。



一寸法師
大阪市のむかし話

住吉大社まつわる、有名なお話。小さな子どもにもおすすめです。



城を守ったタコ
岸和田市のむかし話

敵に攻められる岸和田城を救ったのは、その昔タコが持ってきたお地蔵さま。蛸地蔵の駅名の由来になった話です。



くわばらくわばら
和泉市のむかし話

恐ろしいものに出会ったときに唱えることば「くわばらくわばら」の由来になった話。



タコとねずみ
トンガのむかし話

南の島国、トンガではねずみのルアーでタコを捕っていました。その由来を伝える話。



はす物語
創作

海会寺跡で見つかった軒丸瓦の文様は、ハスの花。そのハスの花を題材にした話。

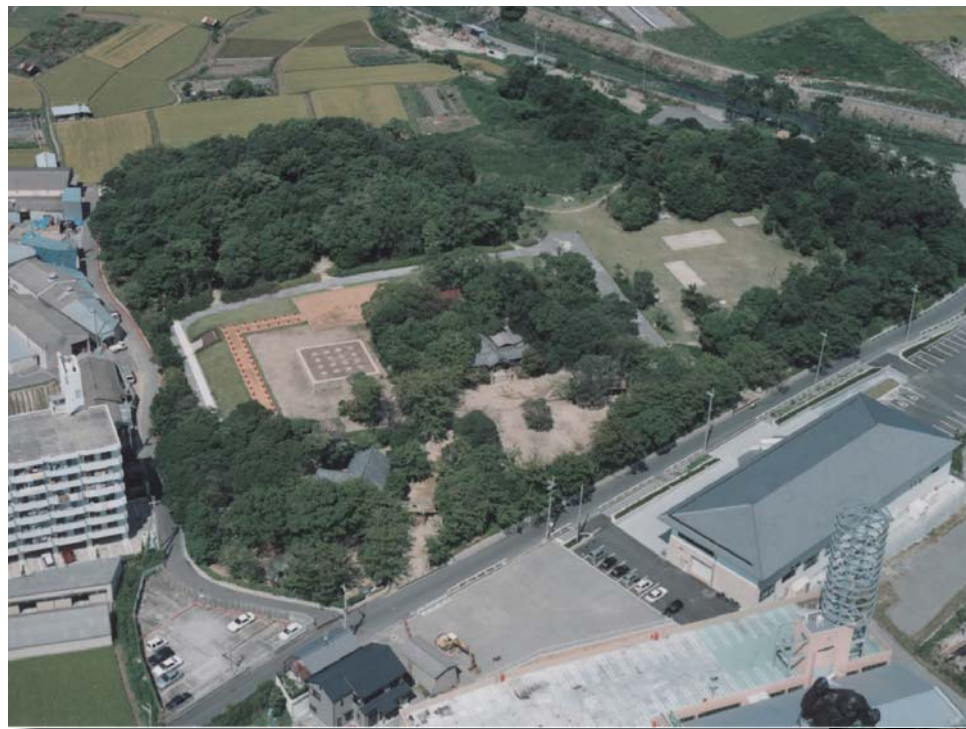


天女と牛飼い
中国のむかし話

年に一度だけに会うことを許された天女と牛飼いの。七夕信仰を題材にした話。

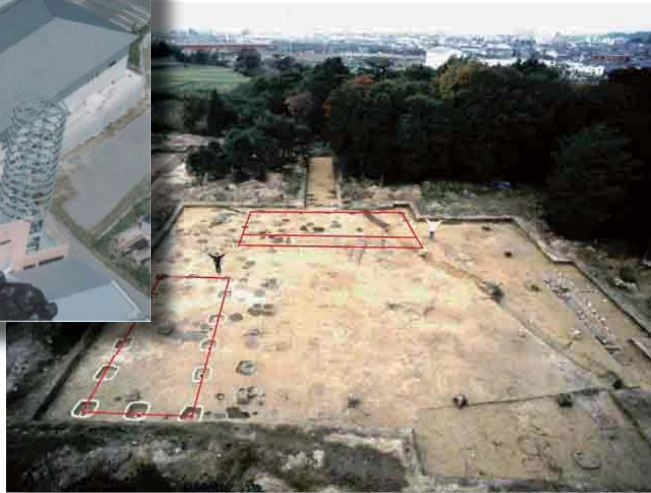


100名程度まで上演できます。
各校園に向いての上演も可能です。



史跡海会寺跡広場

一岡神社の境内に位置します。昭和 58 年から発掘調査が行われ、国内でも有数の寺院跡であることが確認されました。



「大化の改新」直後に建立

7 世紀中ごろに建てられ、10 世紀代には焼失しました。当時のできごとを、地域に残る歴史資料と関連付けて学習することができます。

全国でも有数の歴史資料です

遺跡は国史跡に、遺物は国指定重要文化財にそれぞれ指定されています。現在は史跡公園として整備され、発掘調査でみつかった資料は、埋蔵文化財センターで展示されています。



お寺の様子がわかります

法隆寺とおなじ伽藍配置のお寺です。史跡海会寺跡広場を見学すれば、飛鳥時代に立てられた伽藍の全貌が理解できます。



寺づくりの様子がよくわかります

瓦窯など、寺院造営に必要な生産施設が発掘調査でみつかっています。



年齢にあわせて説明します

地域に伝わるむかし話などを、紙芝居で上演。ムズカシイ話も、わかりやすく説明します。



目的にあわせて利用できます

見学だけでなく、体験学習も実施可能です。昔の生活を体験とおして学習できます。



埋蔵文化財センター

史跡海会寺跡に隣接し、見学することができます。1 階は市内遺跡の発掘調査の整理作業や資料を収蔵し、2 階は海会寺跡でみつかった国指定重要文化財を展示しています。



ホンモノをつかって職員が説明します

実際に市内の遺跡で見つかった土器などを使って説明。「昔のことが、なぜわかるのか」を実物を見ながら学習できます。



資料の貸出しや出前講座も可能です

職員が、各校園へ出向いての説明や、体験学習のほか、資料の貸出しも可能です。

埋蔵文化財センター・史跡海会寺広場の活用と文化財を生かした体験学習などについてのご案内

泉南市教育委員会 生涯学習課
泉南市埋蔵文化財センター
Tel.072-483-6789
Fax072-483-7089

メールアドレス maibun@city.sennan.lg.jp

ホームページ <http://www.city.sennan.osaka.jp/~maibun/maibunn-top.htm>

■利用の申込み・問合せ

事前にご相談ください。日程や目的に応じて、具体的なプログラムをご提案します。

